事務連絡
令和3年8月20日

一般社団法人茨城県医師会 御中

茨城県保健福祉部医療局薬務課

肺炎球菌ワクチンの出荷調整の解除について
(更新情報)

このことについて、令和3年8月17日付けで厚生労働省健康局健康課から別添のとおり連絡がありましたので、御承知願います。

なお、各病院へは別途通知したことを申し添えます。

問い合わせ先 茨城県保健福祉部医療局薬務課 企画調整グループ 梅澤 電話：029-301-3384 FAX：029-301-3399
--

事務連絡
令和3年8月17日

各 { 都道府県
市町村
特別区 } 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課

肺炎球菌ワクチンの出荷調整の解除について
(更新情報)

高齢者の肺炎球菌感染症の定期の予防接種に用いられる肺炎球菌ワクチン（ニューモバックスNP及びニューモバックスNPシリンジ）の供給見通しについては、「肺炎球菌ワクチン（販売名：ニューモバックスNP）の供給見通しについて」（令和2年9月28日付健健発0928第1号厚生労働省健康局健康課長通知）及び「肺炎球菌ワクチンの供給見通しについて（更新情報）」（令和2年12月1日付厚生労働省健康局健康課事務連絡）においてお示したところです。

肺炎球菌ワクチンについては、これまで、発注量が供給量を上回る見込みであったことから、出荷量の調整が行われてきたところですが、今般、製造販売業者であるMSD株式会社から、肺炎球菌ワクチンの安定供給の目処が立ったことから、令和3年8月下旬より、出荷量の調整を解除するとの連絡がありましたので、お知らせします。

引き続き、肺炎球菌ワクチンの円滑な定期接種の実施について、ご協力いただきますようお願いいたします。

記

肺炎球菌ワクチンの供給見通しについて

MSD株式会社によると、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行の影響によるものと想定される肺炎予防に対する意識の高まりを受け、ニューモバックスNPの需要が昨年度を上回るとの予想のもと、出荷調整が行われました。しかしながら、現在、当該需要の高まりは落ち着いており、卸売販売

業者への供給量としては、半期分程度の在庫を保有しているとのこと。今後、需要の大幅な変動がなければ、需要を満たす十分な供給ができる見込みであることから、今般、出荷量の調整が解除されました。

【令和3年8月時点の卸への供給実績又は見込み】

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
2019年度	35.2万本	27.2万本	47.3万本	49.7万本	159.5万本
2020年度	47.5万本	59.5万本	51.4万本	55.3万本	213.7万本
2021年度	26.7万本	19.7万本※	79.3万本	61.2万本	187.0万本
2022年度	32.6万本	24.6万本	48.8万本	64.0万本	170.0万本

□：供給実績、 □：供給見込み

※現在の需要の状況から、供給量は減る見込み。

医療機関等におかれましては、引き続き、必要量に見合う量の肺炎球菌ワクチンを購入いただくなど、肺炎球菌ワクチンの円滑な定期接種の実施について、ご協力をお願いします。